

言語と文化A・B

1. 教科の勉学に対する総論

「言語と文化A・B」では、ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語という五種類の外国語を学べるようになっています。履修の方法に関しては学部・学科・専攻によって異なるので、下記の「言語と文化A・B」履修の手引きをよく読んで履修して下さい。

皆さんの多くは、外国語としてこれまでに英語を勉強してきたと思います。現状では、英語が一番有効な国際的共通語といえますが、本当に英語だけ知ってさえいれば十分なのでしょうか。国連加盟国は193か国に達しており、それらの国々では合計2000～3000種類もの言語が話されていると推定されています。最も国際的に通用する言語である英語にしても、基本的にはそうした多様な人間の言語のうちの一つであるに過ぎません。大学生となり、広い視野に立って多様な国際社会へ目を向けてみようと考えている皆さんには、さらに一歩進んで、ぜひ英語以外の新しい言語にも挑戦して欲しいと思います。新しい言語を学ぶことによって得られる視野の広がり、直接的、間接的に人生を豊かなものとしてくれるでしょう。

2. 「言語と文化A・B」履修の手引き

「言語と文化A・B」の履修を希望する場合は、以下の手引きおよび各学部・学科・専攻の学修要項をよく読み、誤りのないように履修届を提出して下さい。

2-1. 「言語と文化A」と「言語と文化B」の違い

「言語と文化A・B」は共に通年科目であり、一年間通して履修し、試験等に合格して単位を認められると、二単位が認定されます。「言語と文化A・B」には五つの言語が用意されていて、それぞれシラバスの科目名には「言語と文化A」（ドイツ語）・「言語と文化B」（中国語圏文化）等と記載されています。「A」も「B」も、どちらもはじめてその言語を学ぶ人のための初習（初級）外国語科目であることには変わりなく、「A」だけを履修することも「B」だけを履修することも、どちらも可能です。また、「A」と「B」を一つずつ履修することもできます。「A」と「B」の内容上の違いは、「A」では各言語の基本文法の学習に重点が置かれているのに対し、「B」では各言語の文化的背景の学習やコミュニケーション能力の向上に重点が置かれているという点にあります。このバランスやコンセプトは担当者によって異なるので、シラバスをよく読み、内容を確認して下さい。

【注意1】それぞれの言語をしっかりと学びたいと考えている人には、各言語の「A」と「B」を両方とも履修することを勧めます。また、そのように考えている人には、後で説明するリンククラスが用意されていますので、リンククラスを履修することをさらに勧めます。

【注意2】「A」と「B」はそれぞれ一科目（一授業）ずつ履修することができます。しかし、たとえば「A」（ドイツ語）と「A」（フランス語）を一緒に履修することはできません。「A」の中で一科目（一授業）、「B」の中で一科目（一授業）履修することができます。したがって、たとえば「A」（ドイツ語）と「B」（フランス語圏文化）を一緒に履修することは可能です。

2-2. 「言語と文化A・B」に関する学部・学科別の単位の扱い

「言語と文化A・B」は各学部・学科の学生が履修することができます。ただし、学部・学科によって選択必修又は自由選択か違いますので、各学部・学科・専攻の学修要項をよく読んでおいて下さい。

2-3. リンククラスについて

リンククラスは、四つの言語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）それぞれの「言語と文化A」と「言語と文化B」を二科目セットで履修するクラスです。どちらか一方の科目のみを履修することはできません。各言語の授業を週二回受けることとなりますが、リンククラスの場合は、週二回の各授業を同じ教員が連続して教えることとなります。したがって、異なる教員が受け持つ「言語と文化A」と「言語と文化B」をそれぞれ個別に選択して履修する場合よりも、無駄なく、より効率的に各言語を学ぶことができます。各言語をしっかりと学び、各言語の検定試験の合格を目指したいと考える人には、リンククラスを履修することを強く勧めます。

2-4. 「言語と文化A・B」の各授業の履修上の注意

「言語と文化A・B」の各授業の履修希望者は、それぞれ希望する授業（クラス）の第一回目授業（リンククラスの場合は先にある方の授業の第一回目）に必ず出席して、担当の先生の指示に従って下さい。

担当者	担当言語	抽選の有無	受入人数	担当者	担当言語	抽選の有無	受入人数
風岡 祐貴	ドイツ語	○	25	黒木 朋興	フランス語	×	制限なし
井口三奈子	ドイツ語	○	28	司馬 虹	中国語	×	制限なし
橋本由紀子	ドイツ語	○	32	金 成恩	韓国語	○	28
真部 清孝	フランス語	×	制限なし	高木 佳奈	スペイン語	○	30